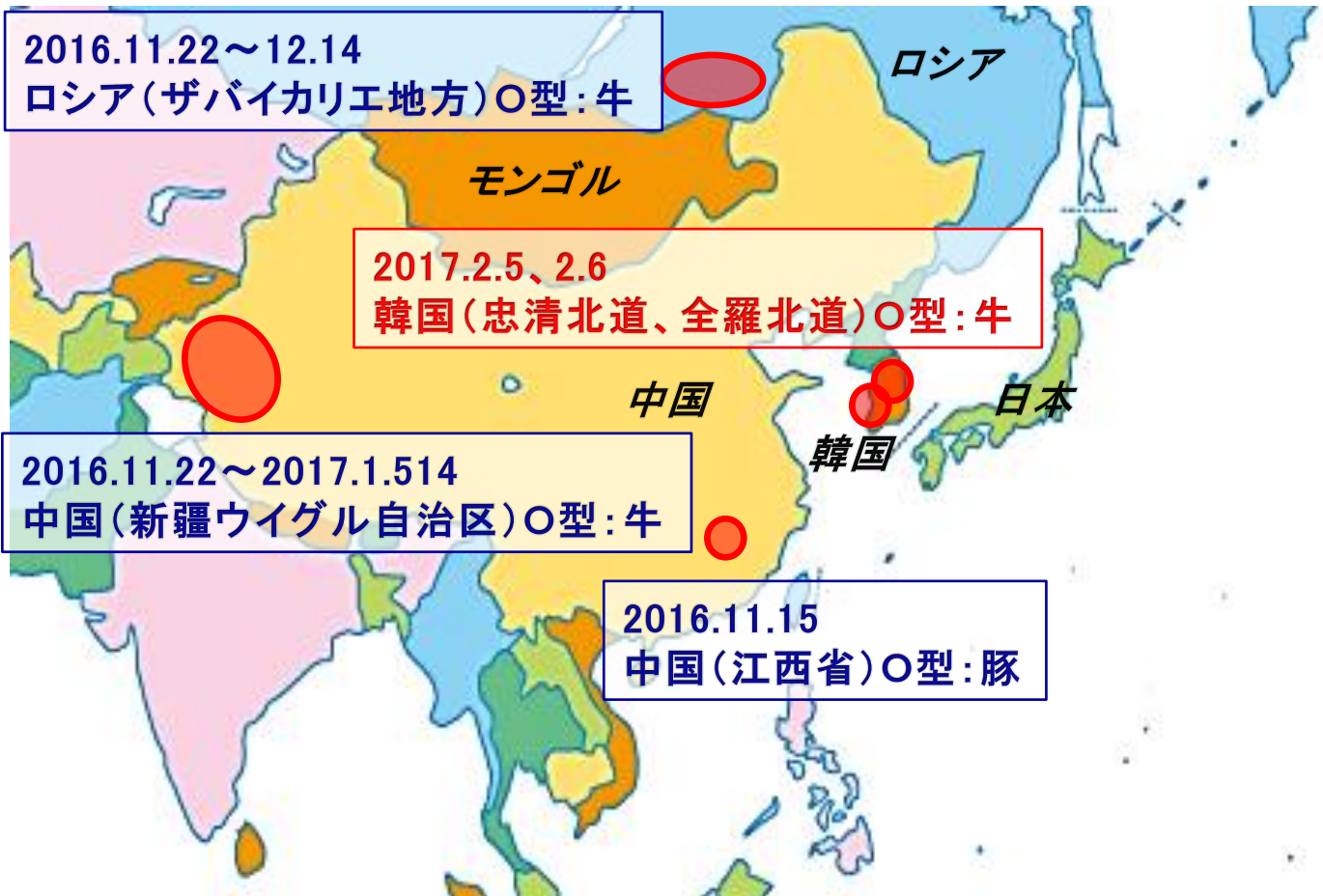


韓国で11か月ぶりに口蹄疫（O型）の発生が確認されました

- ◆人や物の動きが活発になる春節（今年は1月28日）を境に例年、東アジア地域では口蹄疫の発生が増加する傾向が見られますので、当面の間は警戒する必要があります。
- ◆口蹄疫ウイルスの国内侵入リスクが一段と高い状況下にありますので、府内侵入防止に関係者全員で心掛けましょう。



- ◆日本は現在、ワクチンを接種することのない清浄国です。
- ◆韓国を含めて日本周辺諸国の多くは口蹄疫が発生又はワクチン接種により発生を抑えている状況に過ぎません。
- ◆口蹄疫の防疫は水際対策が要となります。万一、国内侵入が防げない場合も想定し、生産現場個々で農場内侵入防止、異状家畜の早期発見及び早期通報の徹底をお願いします。